

令和7年度（2025年度）

戦後80年平和事業



安曇野市戦没者追悼式 並びに 被爆ピアノ・被爆樹コカリナ 平和祈念コンサート



令和7年9月6日（土）

13:00～15:30（開場12:30）

安曇野市豊科公民館ホール
（安曇野市豊科4289番地1）

入場無料（事前申込不要）

◆主催：安曇野市、安曇野市教育委員会

◆お問い合わせ：安曇野市福祉課

電話0263-71-2253(直通) ①8:30～17:15



第1部 13:00～13:45

戦没者追悼式

第2部 14:15～15:30

平和祈念コンサート
被爆ピアノ＆
被爆樹コカリナ演奏

矢川光則（お話）

黒坂黒太郎（コカリナ）

矢口周美（歌・オートハープ）

新倉一梓（ピアノ）

しなのコカリナアンサンブル



安曇野市では、戦没者追悼式 並びに 平和祈念コンサートを開催します。

戦没者追悼式においては、先の大戦で亡くなられた皆さま、また内地で戦災により犠牲になられた皆さまへ哀悼の意を表するとともに、戦没者を追悼する献花および黙とうを行います。

平和祈念コンサートでは、矢川光則さんをお招きして被爆ピアノを通じた平和活動についてお話をお聞きするとともに、黒坂黒太郎さんほか皆さまによる被爆樹コカリナの演奏会を開催します。（被爆ピアノと被爆樹コカリナ初めての共演となります）

ひろしま被爆ピアノとは

1945年の広島、爆心地から概ね3km以内で被爆したピアノ。
被爆当時のままであるが、演奏ができるよう修復されコンサートで使用されている。

被爆樹コカリナとは

黒坂黒太郎が演奏している被爆樹コカリナは、爆心地近くの陸軍病院の庭にあった大きなエノキから作られました。戦後、被爆したその木を近くの基町小学校の子ども達が大切に守ってきましたが、1984年の台風で力尽きて倒れてしまいました。そのエノキを、広島の高校生たちがコカリナにしたいと黒坂に依頼、被爆樹コカリナが誕生しました。黒坂は2001年広島市主催の国際平和シンポジウムに招待され演奏、「被爆樹コカリナ」ができるまでを追ったNHKドキュメンタリー「ヒロシマがきこえる」は全世界で放映されました。その後黒坂はNYニューヨークカーネギーホール、ウィーン楽友協会をはじめ国内外で約3000回、延べ約100万人の人々に生で聴いていただきました。2008年11月、被爆樹コカリナを使って出演・演奏したサントリーホールのラジオCM「コカリナ」が全日本CMコンクール（ACC賞）でジャーナリスト賞、また「消費者のためのCMコンクール」で最優秀賞を受賞しました。今年、被爆80年事業として、広島市が管理している被爆樹の剪定枝をもらい受け、新たな被爆樹コカリナが誕生しました。今、多くのコカリナ愛好者によって、新たな平和の調べが奏でられ始めています。そのことはNHKテレビ「おはよう日本」でも紹介されました。



矢川光則（ピアノ調律師）1952年広島市生まれ。72年ピアノ調律技術者養成所卒、河合楽器入社。93年ヤガワ楽器調律センター設立。96年環境保護の一環として、不用になったピアノを修理し施設に贈る活動をするなかで、「被爆ピアノ」に出会い、2005年から被爆ピアノ全国巡演コンサートをはじめ。2010年9月ニューヨークで被爆ピアノコンサート開催。2021年「被爆ピアノ資料館」を開館。平和活動展開中。



黒坂黒太郎（正文） コカリナ
上田市出身。大学時代よりシンガーソングライターとして活動。1995年ハンガリーの木の笛を「コカリナ」という楽器に育てNYカーネギーホール等でコンサートを開催。子供の頃の実体験をもとに書いた小説「独鈷山」、広島原爆をテーマに書いた「少年と少年」を出版。「独鈷山」は映画化を進める。

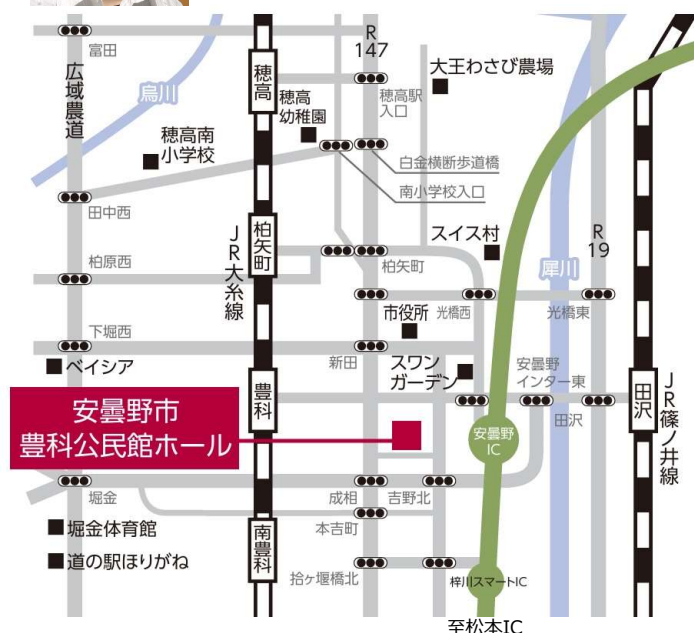


矢口周美 うた・オートハープ
和歌山県新宮市出身。コカリナと共にNYカーネギーホールやウィーン楽友協会など数多くのコンサートで歌唱。コカリナの木の音とよく合う歌声はニューヨークやウィーンの聴衆から絶賛されている。CDも多数リリース。



にいから かずさ
新倉一梓 ピアノ

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。卒業時アカンサス音楽賞(首席)受賞。同大学院作曲専攻修了。書家で詩人の相田みつを作詞の「ひとりでもいい」の作曲を担当。黒坂黒太郎のコカリナコンサートに伴奏者として参加。他、多数の作曲、アレンジに携わる。



しなのコカリナアンサンブル

1998年長野冬季オリンピックをきっかけに、子どもたちがコカリナ活動を展開。その父母を中心にコカリナ演奏活動を継承。信州花フェスタ2019等、様々な式典を盛り上げている。今回も安曇野・松本・北信地域より約50名が集いアンサンブルを結成し参加。